

**おじま幼児園 園舎完成!**  
次の世代を担う子どもたちのために

昨年9月から工事が進められてきた、おじま幼児園の園舎が完成し、3月2日(火)に新園舎の安全祈願祭が行われました。

この日は、地域の関係者などおよそ70人が参加され、園舎の完成を祝いました。記念セレモニーは、テープカットと5歳児17人による鼓隊演奏が行われました。

宗宮町長は、「この園舎を地域のふれあいの拠点として活用して欲しい。」と話し、園児たちからは、「すてきな園舎をありがとう。」と言葉がありました。

揖斐川町では子どもが育てやすく、安全で安心な地域づくりのために、町内の幼児園保育園、小中学校などの耐震化を引き続き進めていきます。



▲テープカットの様子



▲おじま幼児園 園舎の外観



▲元気いっぱいの鼓隊演奏

**安心していきいきと暮らせるまちに  
地域包括支援ネットワーク研修会**



▲講演を熱心に聴く参加者の皆さん

揖斐川町地域包括支援ネットワーク研修会が、2月23日(火)、揖斐総合庁舎5階の大会議室で行われました。

この研修会は、関係機関が連携を深め、高齢者や障がい者などが安心して生活できる地域づくりを目的としています。今回は、町の民生委員・児童委員協議会、ケアマネジャーなどの関係者およそ150人が参加し、理想的な在宅福祉のあり方について、富山市のNPO法人「このゆびと〜まれ」の理事長の惣万佳代子さんが講演されました。

講演の後、参加された皆さんはグループに分かれ「地域の中で自分が出来るのか」をテーマに活発な意見交換が行われました。

**生態系への影響などを学ぶ  
特定外来生物移入防止研修会!**

特定外来生物の移入の防止について学ぶ研修会が、2月18日(木)、揖斐総合庁舎の大会議室で行われました。

100人を超える関係者が受講した研修会では、岐阜県河川環境研究所主任研究員の米倉竜次さんから「生物多様性の保全と意義について」、岐阜県博物館の学芸員千藤克彦さんからは「外来魚の与える影響について」それぞれ講演がありました。

揖斐川上流域の豊かな自然環境をみんなで守り育てることが必要となっており、外来生物に対するさまざまな取組を進めることが生態系の保全につながります。



▲研修会の様子(揖斐総合庁舎)

**消防ポンプ車を配置**  
 ～安全で安心な生活のために～

2月18日(木)、役場北側の揖斐分団車庫前で、消防自動車の配置式が行われました。

今回配置されたのは、揖斐分団に水槽付消防ポンプ自動車1台と、本部藤橋班に消防ポンプ自動車1台です。配置式で宗宮町長は、「今回配置した消防車が、住民の皆さんの安全で安心な生活を守るために活躍することを期待しています。消防団の皆さんには、日頃から消防・防災活動にご尽力いただいていることに感謝するとともに、今後も町民の安心・安全のための活動をお願いします。」と話しました。



▲宗宮町長から橋本消防団長へ目録が手渡されました

**谷汲門前まつり**  
 大盛況!



▲多くの観光客で賑わう谷汲山華厳寺仁王門前

2月6日(土)と18日(木)に、谷汲門前、新田地区周辺で、谷汲門前まつりが開催されました。

まつりでは、地元のよさこいチームの演舞やおぼろ太鼓保存会による太鼓の演奏が披露されました。また、18日には、岐阜県重要無形民俗文化財の谷汲踊が披露されました。

この踊りは800余年前から伝わる武者踊で、源氏が平家を滅ぼし戦勝を祝って踊ったのが始まりとされています。当日は徳山名物の地獄うどんの販売や餅つき大会なども行われ、およそ8000人の観光客で大いに賑わっていました。

**茅屋根の**  
 葺き替え作業を見学

2月20日(土)、揖斐川歴史民俗資料館で、茅葺き民家の屋根葺き替え作業の見学会が行われました。

昭和62年に旧徳山村から移築されたこの民家は、豪雪に耐えるよう梁や柱が太く造られており、当時の生活を知ることができる貴重な建物として町の文化財に指定されています。

参加された皆さんは、実際に作業をしている現場に足を踏み入れ、間近で作業を見学していました。

今では、ほとんど見る機会がない作業を見学した参加者は、「勉強になった。」「懐かしかった。」などの感想を話していました。



▲熱心に説明を聴く参加者の皆さん

**奥田さんが**  
 総務大臣感謝状を受賞!



▲総務大臣感謝状を受賞した奥田さん

この度、奥田豊歳さん(坂内広瀬)が、選挙制度120周年記念表彰で総務大臣感謝状を受賞されました。奥田さんは、平成3年10月に旧坂内村選挙管理委員会の委員に就任以来、平成12年11月から平成17年1月まで同委員会の委員長として、また、平成17年3月からは、揖斐川町選挙管理委員会の委員として、長年にわたり選挙の管理執行および啓発事務に従事されており、これらの功績から今回の受賞となりました。奥田さん、受賞おめでとうございます。